

19番（小暮博志） 政友みらいを代表して、決算特別委員会に付託されました議案第69号から議案第75号までの全7議案に関し、賛成の立場で討論をいたします。

令和2年度一般会計予算(案)大綱によりますと、予算は、令和元年東日本台風の甚大な被害を受けており、令和2年度も途切れることなく、被害者支援や、復旧・復興に取り組むことを最優先事項とした、とありました。

令和2年度に入り、新型コロナウイルス感染症が拡大した事が大きく影響し、18回の補正予算が組まれ、予算の決算額としては、過去最大となる681億6,068万円（対当初予算40%増）となりました。

この様ななか、市民の感染症の予防対策や経済縮小への対応を進めると共に、常時の事業と共に、大きな予算執行を進められたことに、謝意を表したいと思えます。

以下、令和 2 年度一般会計、特別会計及び企業会計の決算内容の討論にあたり、予算大綱で示されていた内容と決算の状況から、その一部を概観させて頂きたいと思います。

最初に、一般会計決算です。

予算大綱において、被害者支援や、復旧・復興に取り込むことを最優先事項とした、と有りました。被害者支援状況を主要な施策等の決算状況から見ますと、11 事業が行われ、その執行額も 13 億円程になりました。事業名としては、復興推進事業費、災害見舞金事業費、衛生対策事業費、家財等購入等支援事業費、災害廃棄物及び堆積土砂処理事業費、強い農業・担い手づくり総合支援事業費、崩落土砂等撤去支援事業費、被災企業等支援事業費、橋りょう災害復旧支援事業費、被災住宅応急修理事業費、被災住宅再建支援事業費等でした。

また、復旧・復興事業は 10 事業程が行われ、その執行額も 14 億円を超える額になりました。復旧・復興事

業名としては、農業施設、農地、市道、橋りょう、河川関係でした。

この様に多くの事業が執行され、台風被害者支援や復旧・復興が進んだものと思います。感謝を申し上げます。しかし、令和3年度への復旧・復興事業の繰越明許費は、業者不足もあり、4億円を超えて約30%を占めています。事業の早期完成をお願い致します。

それから、市民の安全性向上のため、新らに洪水・土砂ハザードマップを決算額156万円で作成し、市民の周知や防災意識の啓発をされました。復旧・復興が進められているなか、ハザードマップの見直しは適切な見直しだったと思いました。

今回、新型コロナウイルス感染症の発生により、外出活動の制限や経済活動の自粛等が求められ、感染予防と対策として多額の予算額が追加・補正されました。44事業程が執行され、その決算額は148億円(当初予算の30%)程でした。

国が定めた1人10万円給付する給付金事業があ

り、対象者の 99.44%程の方が受け取ったようでした。他に 42 事業の追加された新事業があり、感染症の拡大予防を考えながらの事業推進、非常に大変だったと思います。感謝申し上げます。また、今後とも、感染防止と経済回復のための推進を、宜しく、お願い申し上げます。

令和 2 年度は、主要な施策として 400 件程計上され、台風関係、コロナウイルス感染症関係以外にも、多くの事業をなされて来たわけですが、次の 4 つを述べさせていただきます。

高速・広域交通網の利便性を生かし、新たな土地利用の転換を推進する国道 50 号沿線開発調査事業は、将来における発展の場として期待しております。

寄付金アップと地場産業の発展に寄与する「ふるさと納税推進事業」は、今の経済活性化にも非常に有効と思います。ポータルサイトも増設したとの事であり、魅力ある返礼品として、天明鋳物等の拡大に努め、今後とも、寄付金の受け入れ額増加を期待します。

2022年栃木国体の本市開催競技施設として、新野球場整備、陸上競技場の改修、アリーナためま改修等が予算額約9億2,000万円で、令和2年度も進められてきました。令和3年度の繰越明許額が若干見られますが、最高の場所の提供と運営を、宜しく願い申し上げます。

葛生・常盤中学校区小中一貫校整備に、16億4,695万円が計上されて始まりました。より良い教育が行われるように、令和5年4月開校に向け、今後とも建築が順調に進むよう、お願い致します。

ここで、最大の決算執行状況となりました令和2年一般会計の決算状況をみますと、実質収支額31億5,728万円、単年度収支額4億940万円であり、又、地方債現在高の増加より財政調整基金等の積立金現在高の増加の方が大きくなっており、堅実な財政運営がなされていると判断致しました。

しかし、自治体の裁量で使える財源のうち、どれだけ使っているかを示す経常収支比率をみますと89.5%で

あり、増加傾向になっています。今後、注意してみたい
ただきたいと思います。

次に、令和 2 年度佐野市国民健康保険事業特別会
計(事業勘定)ですが、歳入歳出差引後の実質収支額
は 2 億 9, 343 万円ほどありますが、単年度収支額をみ
ますと△853 万円です。財政調整基金は 2, 521 万円の
増加、公債費の増減なし、であり、堅実な財政運営に
なっていると判断しました。しかし、活動の中に、特定
健康診査事業があり、その受診率が、令和元年全国
平均の 38%と比較して佐野市は 26.9%と少し低い状況
にあります。この受診率は、人口の少ない地域に高い
傾向がみられます。より健康な方が増加する為にも、
きめ細かい指導をお願い致します。

令和 2 年度佐野市下水道事業会計の決算ですが、
新しい規定に則り運営されるようになり、そして汚水処
理原価や使用料原価が明確となりました。示された経
費回収率も 78.07%とのことであり、水道事業会計での
料金回収率 124.11%と比較検討を進め、経費回収率

向上に努めて頂きたいと思います。

以上、18 回に及ぶ大幅な補正がなされ、最大規模となった令和 2 年度一般会計決算、及び特別会計決算 4 件、企業会計決算 2 件は、監査委員の報告の如く適正に処理されていることが示されると共に、3 日間の決算特別委員会において、延べ議員 31 人により詳細な決算執行内容の質疑が行われ、説明を受けました。

ここに、全 7 議案の決算の認定に賛意を述べるものであります。

以上、政友みらいを代表しましての賛成討論といたします。